2019年　上海・岡山障害児者絵画交流展「きらめきは海を越えて」　開催要綱

１．趣旨

近年、障害児者の芸術活動に注目が集まっています。コミュニケーション能力に乏しい障害児者にとって芸術活動は貴重な表現手段であり、その活動を振興することは、本人の人生の豊かさだけでなく、社会における障害者の理解につながります。

今般、30年以上にわたり上海市と福祉交流を続けている旭川荘の呼びかけにより、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、上海・岡山双方で障害児者の絵画展を開催することになりました。2019年に上海市で開催した後、2020年は岡山市で開催し、日中両国の障害福祉のさらなる向上と、友好関係の発展を図ることとしています。

２．名称

上海・岡山障害児者絵画交流展　「きらめきは海を越えて」

３．開催日程

2019年12月3日（火）～12月8日（日）

４．開催場所

上海呉昌碩記念館（上海市浦東新区陸家嘴東路15号）

※　呉昌碩(1844-1927)は中国の高名な芸術家で、岡山県高梁市出身の画家・児島虎次郎とも親交がありました。現在は同館の執行館長を曾孫の呉越氏が務めており、日中交流にも積極的に取り組んでいます。

５．展示作品

岡山側は、「きらぼし★アート展」（岡山県公募展）の作品等21点、旭川荘の作品10点。上海市側は、特別支援学校の作品35点。

６．入場料

　　無料

７．主催者等

主催　上海市人民対外友好協会、社会福祉法人旭川荘、一般社団法人岡山障害者文化芸術協会

共催　上海市呉昌碩記念館、浦東新区補読学校、普陀区啓星学校

後援　在上海日本国総領事館、岡山県日中友好協会、岡山市日中友好協会

「日中青少年交流推進年」認定行事

８．その他

12月3日にオープニングセレモニーを行う。